

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回中警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年6月25日（火） 午後3時から午後5時までの間 ----- 中警察署講堂
出 席 者	1 委員 香川 絢子 会長 高木 賢一朗 副会長 矢方 美紀 委員 林 洋子 委員 大場 剛 委員 市村 益生 委員 藤村 徹 委員 山名 孝也 委員 名越 陽子 委員 神谷 昭一郎 委員  以上10名（定数15名） ----- 2 警察署員 林署長 石黒副署長 松原警務課長 政尾栄地区対策隊長 宮澤会計課長 加藤生活安全課長 沖本地域課長 村手刑事課長 寺本組織犯罪対策課長 曾賀交通課長 永井警備課長 以上11名 ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	昨今の情勢を反映した歓楽街対策
答 申 等 の 概 要	1 警察官の姿を見せる警戒活動の強化 2 飲食店等と連携した広報啓発の実施 3 官民連携による歓楽街総合対策の推進
そ の 他	・ 協議会に先立ち、愛知県警察柔道大会に向けて当署体育場において訓練に励む当署員の委員視察を実施した。 ・ 次回開催予定日 令和6年9月4日

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶及び各種報告
	(1) 犯罪発生概要
	(2) 交通事故発生状況
3	前回答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	自転車盗の被害防止対策
	(2) 答申事項
	ア 行政と連携した駐輪場に対する諸対策
	イ 視覚に訴えかける広報啓発の実施
	ウ 自転車盗に対する罪の意識の定着化
	エ 自転車盗被害に関する具体的事例を活用した広報啓発の実施
	オ 外国人に特化した広報啓発の実施
	(3) 施策の推進状況（生活安全課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 名古屋市「自転車等放置禁止区域」の拡充とその周知活動
	(イ) 自転車事業者と連携したワイヤー錠の配布
	イ 答申事項イについて
	「防犯カメラ設置地区」プレートの製作・掲出
	ウ 答申事項ウについて
	罪の重さを実感できるメッセージ性のあるプレートを製作予定
	エ 答申事項エについて
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
SNSを活用した実際の被害事例に基づく注意喚起	
オ 答申事項オについて	
外国人を対象とした防犯講話の回数を増加	
4 諮問	
(1) 諮問事項	
昨今の情勢を反映した歓楽街対策	
(2) 諮問事項の設定理由	
ア 新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことを機に、栄地区の歓楽街にはにぎわいが戻ったが、県外からの出張者、観光客等が客引きにつかまり、ぼったくり被害や料金トラブルに巻き込まれるという事案が増加している。加えて、違法駐車車両の増加、外国人犯罪等、多くの対策が求められている。	
イ 歓楽街で生み出される違法な資金は、暴力団を始め、治安上の脅威となっている匿名・流動型犯罪者グループに流れていることが認められ、資金源のはく奪とその実態を解明することが求められている。	
ウ 中警察署においては、以上の情勢に対し、各種対策を推進しているところであることから、警察署協議会への情勢の報告と、同署で推進している歓楽街への対策について、見解を求めることとした。	
5 協議	
委員	・ 歓楽街において犯罪に遭う被害者の年齢層や犯罪多発時間帯はあるか。
警察	・ 酔客を狙うような犯罪が多発しているため、年齢層は成人、時間
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	帯は酔いが深まる夜遅い時間に被害が多発している印象である。
委員	・ 歓楽街にパトカーを駐留させて警察官の姿を見せることにより、遊びに来た人は安心するし、犯罪の抑止にもつながると思う。
	・ 夜遅い時間に歓楽街内の公園で少年が遊んでいる姿を見るので、未成年に対する対策も必要ではないか。
委員	・ 客引きは犯罪組織の末端であると思うので、組織の上層部を検挙できるような捜査を推進してほしい。
	・ 違法・悪質な店舗を飲食客に効果的に情報提供してはどうか。
委員	・ 錦三丁目は違法駐車が行っている状況なので、対策を強化してほしい。
	・ 違法・悪質な店舗対策として、風俗営業許可の審査を厳しくする必要があるのでないか。
	・ 客引きをする者は、客引き行為について罪の意識が低いと思うので、法令違反に該当するということを認識させる必要がある。
委員	・ 歓楽街には、暴力団等の組織や外国人組織がはびこっていると思うので、その根元を断つような対策を講じてほしい。
委員	・ 現在実施している歓楽街対策を絶やすことなく、今後も継続して実施してほしい。
委員	・ 客引きを取り締まる法律はあるが、客引きについていく者に対する対策も必要ではないか。
	・ 風俗営業許可を出す際には、営業者等に対する慎重な審査をしていると思うが、許可を出した後の途中経過を審査することも重要だ
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
と思う。	
委員	・ 客引きの行為者のみならず、歓楽街に遊びに来た者にも客引きの違法性を認識させる広報啓発を行うことが効果的であると思う。
	・ 客引きに声を掛けられたり、客引きを見掛けたときに気軽に相談できる仕組みがあればよいと思う。
	・ 自治体等と連携し、優良・健全な店に対する認証を推進してはどうか。
委員	・ 制服警察官の姿をもっと見せて歓楽街の犯罪を抑止してほしい。
	・ 「べからず集」を作成し、飲食店と連携して「客引きについていくべからず」等の注意喚起を実施してはどうか。
	・ 企業や自治体と連携し、客引きやぼったくり被害に関する広報啓発の輪を広げてほしい。
委員	・ 風俗関係に関する法律は、適法と違法の線引きが難しいと感じるので、その点に焦点を当てた情報発信が重要となってくると思う。
6 答申	
(1) 警察官の姿を見せる警戒活動の強化	
(2) 飲食店等と連携した広報啓発の実施	
(3) 官民連携による歓楽街総合対策の推進	
7 その他	
次回の開催予定は、令和6年9月4日とする。	
	記録者 警務係長